

阿用地区 振興協議会だより

阿用地区振興協議会 令和7年2月28日発行 第179号
 〒699-1224 雲南市大東町東阿用 33-1 電話・FAX (0854) 43-2811
 Eメール ayo-c@hotmail.yoitoko.jp



2月19日早稲田大学留学生交流会を開催しました。
 2人の早稲田大学留学生が2月2日から3月2日までの1ヶ月間東上自治会の吉田勇輝さん宅に滞在されています。(前列中央左側：クローア・ニコラスさん 右側：ターリー・モリーさん)

Welcome to AYOU



令和7年新年賀会

阿用地区新年賀会を1月26日午後3時から阿用交流センターで開催しました。
 雲南市長石飛厚志様、島根県議員高橋雅彦様、雲南市議会議員矢壁正弘様、雲南市大東総合センター所長高田浩二様等多数の来賓をお迎えし、総勢40名の皆さんの出席のもと盛大に開催することが出来ました。
 主催者を代表して、後藤会長から振興協議会の各活動についての、お礼と

報告等を述べました。
 来賓の石飛市長から、阿用地区の活動の一例として阿用でのゲストハウスオープンの話や地区への激励の言葉をいただきました。続いて高橋県議員からは、県政状況や雲南地域の課題等について、最後に矢壁市議会議員から、市内の各地区状況・川井地区の玉湯吾妻山線工事継続等の話がありました。
 今年は、6年ぶりとなる懇親会が開催され、大東総合センター所長高田浩二様の乾杯で開宴し、祝宴が始まると酒宴の場が沢山でき、久しぶりに大いに語らい親交を深めました。
 最後に今年91歳を迎えられる元阿用公民館長の蓮岡法障様のご発声で参加いただいた皆さんと今後の阿用地区の発展を祈念し閉会しました。



阿用駐在所は、リノベーション工事が終了し、2月14日仮設事務所から新しくなった元の駐在所に移転になりました。



阿用交流センター歌声喫茶

講師 音楽療法士 金築 朋子 さん
 日時 令和7年3月6日(木)
 午前10時～11時30分
 場所 阿用交流センター 講義室
**みんなで懐かしい
 曲を聴いたり、
 歌ったりしましょう!!**

お問い合わせ
 阿用地区振興協議会 福祉部
 電話 43-2811



3月の行事予定 (弥生)

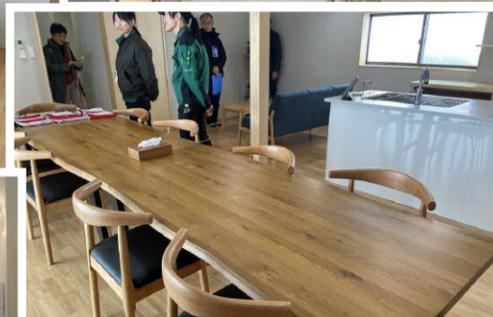
※青字は交流センターで行われる行事、緑字は小学校の行事、ピンクは市関係です

日	月	火	水	木	金	土
						1
2		3	4	5	6	7
古紙回収日 (交流センター)	あいさつ運動 (明賀谷、メゾン阿用) 7:40 阿用いきいき健康サロン 18:00	不燃・有害ごみ収集日 郷土誌編集委員会 16:00	古紙回収日 (自治会指定の燃やせないごみ収集場所) 配食サービス意見交換会 9:30	阿用いきいき健康サロン 9:00 歌声喫茶 10:00		8 俳句会 13:30
9	10	11	12	13	14	15
環境美化パトロール 8:30	阿用いきいき健康サロン 18:00	見守り支援情報交換会 19:00	寿会役員・監査会 9:30	ビン・カン、古着収集日 阿用いきいき健康サロン 9:00		
16	17	18	19	20	21	22
うんなん家庭の日 ごみ直接持込み日	阿用いきいき健康サロン 18:00	阿用小学校卒業証書授与式 農地水推進委員会 19:00	アヨ有機農法塾 餅つき 8:00	阿用いきいき健康サロン 9:00	パソコン教室 13:30	
23	24	25	26	春分の日		29
	阿用いきいき健康サロン 18:00			阿用いきいき健康サロン 9:00	自治会長会 19:00	
30	31					
	阿用いきいき健康サロン 18:00					

阿用に OPEN

Guesthouse IKIRU

ゲストハウス 生きる



吉田勇輝さん（東上自治会）は、築250年の古民家をリノベーションし

ゲストハウス（「Guesthouse IKIRU」）を完成され、2月8日にオープンを迎えられました。当日は、オープニングセレモニーや内覧会が開催されました。大寒波到来により大雪でしたが、石飛市長様を始め、地区内外から約200名の来場者がありました。古民家のイメージを残しながら、現代の建築を駆使し新旧のギャップが楽しめる心地よい空間となっています。また、2階の窓から「雪の阿用」も一望できました。阿用の冬にホットなニュースが届きました。



阿用に移住された吉田勇輝さんを紹介します

【名前】 吉田勇輝（よしだ ゆうき）

- Guesthouse IKIRU 代表
- 雲南市起業型地域おこし協力隊

【自己紹介】

1991年生まれ。兵庫県宍粟市出身。大学卒業後、大成建設株式会社に就職。約8年間、現場監督として施工管理に従事。30歳を機に、これまでの生き方を見直すため仕事を退職し、夫婦で日本一周の旅へ。1年半かけて47都道府県を旅し、134軒のゲストハウスに宿泊。

日本一周後、雲南市の起業型地域おこし協力隊に着任。現在は阿用地区で築250年の古民家を購入し、ゲストハウス改修工事を行った。ゲストハウスを通して、雲南市の関係人口創出に取り組む。

趣味はバックパッカーで世界を旅すること（来訪30国）



【阿用にきた経緯】

ご縁あって、2019年にアヨ有機農法塾主催の稲刈り体験に参加させていただきました。その際に出会った阿用地区の皆様が本当にパワフルでイキイキとされていて、すごく衝撃を受けました。私もあんな歳の取り方をしたいと感じたのを、今でも覚えています。

その後、日本一周で全国を見て回りましたが、やはり阿用が1番でした。

ゲストハウス開業にあたり、世界で1番好きな場所でやりたい気持ち強く、夫婦で阿用地区への移住を決めました。



【ゲストハウスに込めた思い】

全国のゲストハウスに宿泊し、国籍や年齢・性別、関係なく1000人以上と交流することができました。ゲストハウスを通して、生き方は一つではなく「多様な生き方」があることができて、私自身、生きるのが楽になりました。ゲストハウスは人生に悩んでいる人にとって、「新しい生き方」を見つけるきっかけになると感じ、起業してゲストハウスをやることを決意。私たちの宿を通して、1人でも生きやすくなってほ

しいと願いを込めて「Guesthouse IKIRU（生きる）」と命名しました。

ゲストが宿泊するだけの宿ではなく、阿用地区の皆様と繋げ、1人でも多くの人に阿用の素晴らしさを知ってほしい。将来は阿用への移住者を増やし、増え続ける空き家問題・人口減少を少しでも解決したいと考えております。

【最後に】

ご縁あって阿用地区へ移住して早半年。皆様のご協力で、ゲストハウスオープンまで来ることができました。本当にありがとうございます！

世界で1番好きな阿用地区へ少しでも恩返しできるよう、精一杯頑張りますので、応援よろしくお願いいたします！

